



# 双塔

カトリック新潟教会

2017年12月  
No. 355

## 待降節は心の準備

協力司祭 ロレンゾ・ホセ・ルイス

みなさん、こんにちは。これは私のローマからの第三の手紙になります。こちらのコースも12月8日で終了する予定です。私は12月の中旬までに新潟に帰ります。

典礼の暦は王であるキリストの祝日に終わって、日曜日の聖書と典礼はA年からB年に変わります。12月の第一の日曜日には待降節に入って、典礼の色も紫になります。教会はイエス様の誕生のお祝いをする前に、準備の時期に入ります。

実は教会だけではなく、町全体もクリスマスモードに入ります。デパートに入ると大きなクリスマスツリーがあったり、クリスマスの音楽が聞こえます。ただ、忘れてはいけないのは、私たち信者の皆にとって、12月になったからといって、典礼的にまだクリスマスにはならない。

この待降節の時期を大切にしなければならないのです。たしかに、プレゼントのショッピングは早めに行えばならないかもしれませんが、心の準備もぜひ忘れないでほしい。これこそ、待降節の大きな意味です。

準備として、罪のゆるしはもちろんですが、あらためて神様の働き手としての自分のことも反省しなければならないと思います。クリスマス、つまり、イエス様の誕生が実現するためには人々の協力が必要でした。たとえば、もしもマリア様は天使ガブリエルに“お断わりします”、と答えたなら、イエス様の誕生はなかったかもしれません。聖ヨゼフも同じです。この二人は天使を信じて、神様の計画に賛成したので、クリスマスが実現したのです。

皆さん、考えてみてください。自分はどのくらい神様の協力者になっているのでしょうか。必要としている人々はまわりにいるかもしれません。私たちは努力して、できることはしているのでしょうか。必要としている人々の存在に気付くことだけでも、大きな進歩になります。

心の準備として私たちはますます神様の愛の活動の協力者になりますように、頑張っていきましょう。

## そよかぜ便り

### ■ 教区青年の集い ---- 11月4日(土)～5日(日) ----

新潟の青年たちが準備をし、教区内の各地から言葉・国籍・文化の違う青年たちが集まり、元田勝哉神父様(フランシスコ会)の指導のもと、祈りと分かち合いの集いを開催した。

集い2日目の5日の9時半のミサは、青年たちがミサ前のロザリオや朗読、共同祈願を担当。もともと予定されていた新潟教会の帰天した信徒のためのミサを元田神父様の司式で一緒に捧げた。

準備にあたった青年の1人は、「祈りは、文化・言葉の違い・心理的な距離から始まり、あらゆる時間的・空間的な距離、さらには生と死の境まで超えてしまうものなのですね。…今回の集いは解散して、参加者ひとりひとりがバラバラになっても、私たちは祈りによっていつでも一致することができる、と僕は信じています」とコメントしている。

### ■ 新潟教会バザー ---- 11月12日(日) 10:30 ----

11月12日(日)9時半ミサ後、センターにて教会バザーが開催された。信徒の皆様からの温かいご寄附の品をはじめ、手作り手芸品・食品などが販売された。当日は司教様からの提供品なども並び、会場は大いに賑わった。談話室では温かい豚汁やコーヒーが人気で、あちらこちらで談笑する姿が見受けられた。また近隣の信者さんもバザーに足を運んでくださり、昔話に花が咲いて楽しいひと時となった。この日の売り上げは、12月3日開催予定の英語ミサバザーと合わせて、東日本大震災復興支援(南相馬「真こころ」、宮城県「八木山オリブの会」)に送られる。

## あゆみ

No.86 教会運営委員会

講座「知ってるつもり?! 典礼のしるし、ことば、動作」

指 導 主任司祭 ラウール神父

開催日時 2018年1月13日(土) 午前10時～11時

※ 2017年12月はありません。

会 場 カトリックセンター研究室

菊地司教様、東京大司教に任命

\*12月9日(土)\* 新潟教区離任ミサ(13:00 聖堂)、  
感謝の集い(14:30 センター)

会場の収容人数に限りがあるため、秋田、山形など遠方の方を優先します。  
ご了承ください。

\*12月16日(土)\* 東京大司教着座式ミサ(11:00 東京司教座聖堂)